

団体名：西東京わいわいネット

活動地域：西東京市

助成額：98,624 円、助成回数：2 回

【当初の目的に対しての結果】

（子ども食堂）これまでの会場であった西東京市田無公民館は、耐震工事のため使用できず、会場近くのレンタルスペースを1年間借りて開催した。座席を多くできないので、入れ替え制にしたので、外で待ってもらうこともあった。新型コロナの影響で、子ども食堂は、5-9月、2月が開催できなかった。8月以降、子ども食堂の開催が出来ない時は食品配布をすることにし、毎月活動する事を確認した。今年度参加した子どもは57人。コロナ対策の必要から、子どもと一緒にクッキングの形から子ども食堂としての開催となったため、親子づれや未就学児も多かった。暑中お見舞いや年賀状でフードパントリーの参加をお誘いし、リピーターが増えた。

【主催者の感想】

当初は、会員を中心として初めは家から食材を持ち寄りながら始めた子ども食堂であったが、活動を続けていくうちに、一般市民からの定期的な寄付、行政や企業からの多額の寄付が寄せられるようになった。東都生協からの商品提供、フードパントリーは2020年10月より6月まで週2回の開催をした。たくさん子ども、保護者、大学生などを支援できた。中学生、高校生、大学生をはじめとした若いボランティアがたくさん参加してくれて大きな力となった。その後もその他の子ども食堂やさまざまな形でボランティアを続けている子が多い。活動を支える支援・ボランティアの輪が広がっているのは心強い。子どもの食を大切に、食の支援をする場、居場所づくり、賛同する人のネットワークをさらに広げていきたい。

【支援を受けられた方の声】

フードパントリーでは、アンケートを実施。普段、子どもたちに食べさせてあげられないお菓子をもらって、助かった。コロナ禍で収入が減り、週2回のお米、食品、お菓子などの提供は嬉しい。などの利用者からの切実な声、感謝の声が寄せられた。

【その他、意見・要望など】

子ども食堂ネットワークや社会福祉協議会のフードドライブからの食品の寄付もあるが、それは欲しい物を選べない。東都生協の提供は商品案内より選ぶことができ、子ども食堂のメニューに合わせて注文できるのがうれしい。今後も続けて欲しい。